

23.3期決算 補足説明資料

2023年5月12日



23.3期決算 連結損益

- 売上高は、増収であるものの、水環境事業で別途発注の土木工事の遅れにより、当社機械設備工事に一部遅れが発生し公表値未達
- 営業利益は、一過性の要因および低採算案件の進捗、予算超過案件の影響により減益
(一過性の要因 ①その他事業 物流施設のフリーレント、②廃棄物処理事業を行う子会社の設備更新、③持株会社への移行に関する事業再編費用)
- 当期純利益は、22.3期の市川工場跡地の固定資産売却益の反動により減益

【単位：億円】	22.3期 実績	23.3期実績	前期比
受注高	1,186	1,060	△126
売上高	931	978	+47
営業利益	57	50	△7
営業利益率	6.1%	5.1%	△1.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	82	42	△40
ROE	10.9%	5.2%	△5.7%
ROIC	3.8%	3.3%	△0.5%

23.3期決算 連結損益（売上高、受注高）

受注高

【水環境事業】

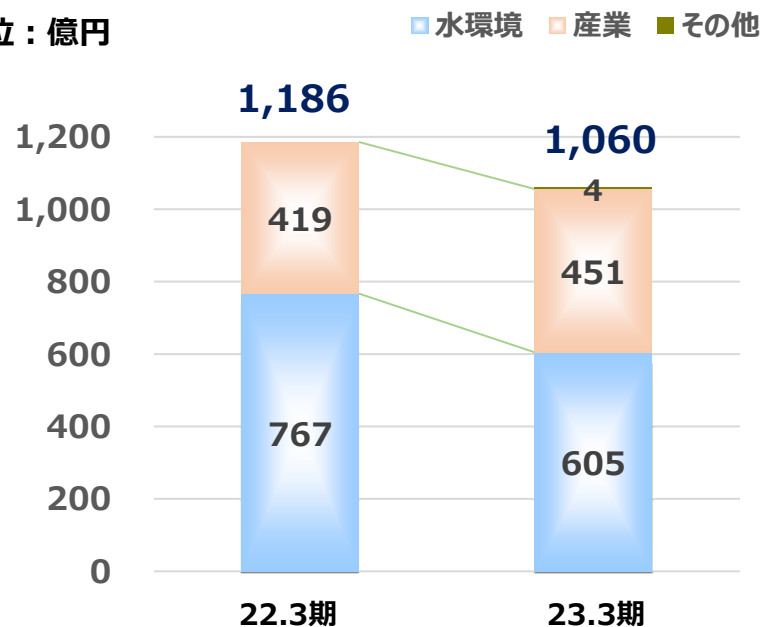
前期大型案件の反動および一部大型案件に期ズレにより減少

【産業事業】

引合は回復し、大型電池案件などが貢献し、増加

その他：物流設備など不動産管理、賃借などに関するセグメント

単位：億円



売上高

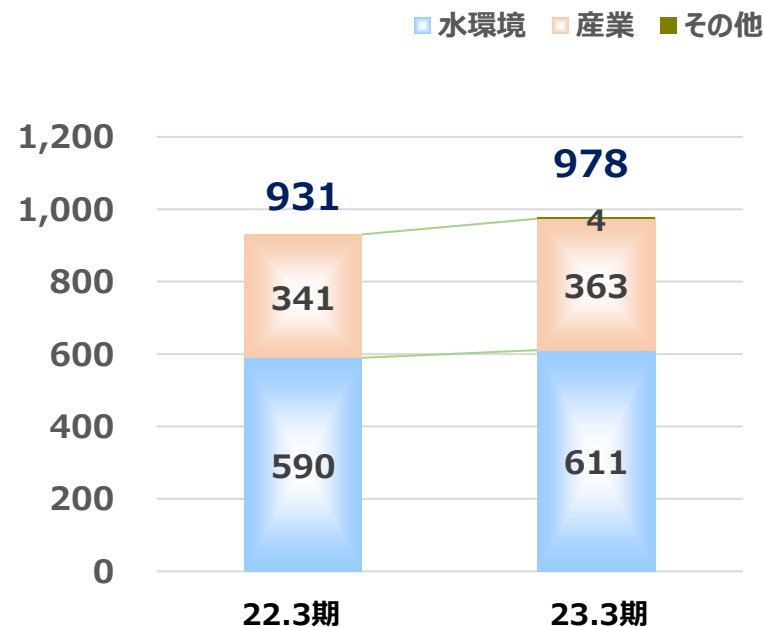
【水環境事業】

増収であるが、別途発注の土木工事の遅れにより、当社機械設備工事に一部遅れが発生

【産業事業】

大型焼却案件および受注案件の進捗により、増収

単位：億円



23.3期決算 連結損益（営業利益）

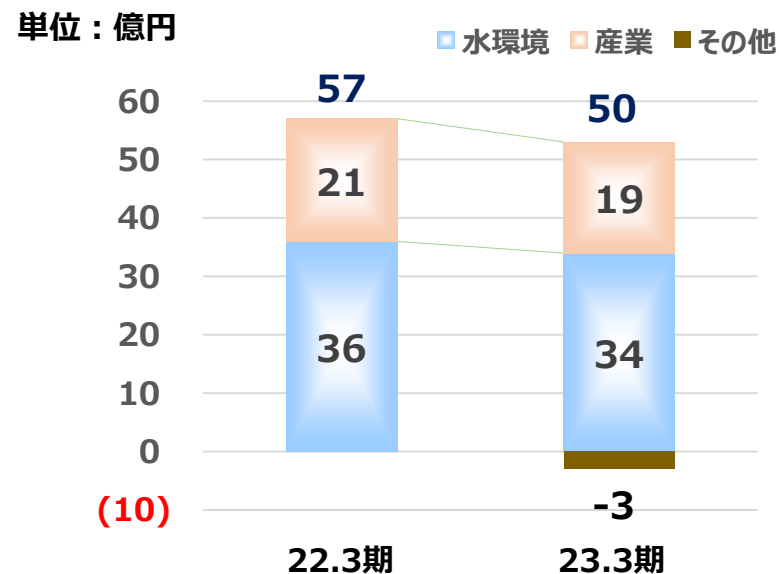
営業利益

【水環境事業】

廃棄物処理事業を行う子会社の設備更新、事業統合・持株会社制移行にかかる一過性費用の影響、および低採算案件の進捗、一部工事遅れに伴い完工案件が少ないこと、予算超過による利益率低下で減益（なお、受注時利益率は回復している）

【産業事業】 増収効果はあるものの、子会社の低採算案件の進捗、予算超過案件の影響により、減益

【その他】 物流施設のフリーレントにより営業赤字。24.3期よりフリーレント期間が解消し、収益貢献



24.3期決算 業績見通し

その他：物流設備など不動産管理、賃借などに関するセグメント

受注高

【水環境事業】

水インフラ投資は堅調。JFEエンジニアリングとの水エンジニアリング事業の統合も考慮し増加

【産業事業】

期ズレした大型案件を取り込み増加

売上高

【水環境事業】

受注済み案件の進捗およびJFEエンジニアリング統合効果により増収

【産業事業】

焼却などの受注済み案件が進捗し増収

営業利益

【水環境事業】

JFEエンジニアリングとの事業統合に伴う一過性の費用の影響があるものの、増収により増益

【産業事業】

低採算案件の進捗があるものの、増収により増益

【その他】

物流施設フリーレントは解消するものの期ズレした固定資産税等の影響あり

単位：億円

■ 水環境 ■ 産業 ■ その他

